1 地区支部長：山本　美子

| 1 地区支部 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目標 | 1 地域包括ケアシステム実現に向け施設間の情報及び連携を強化する<br>2 地域活動を通して、地域住民の健康づくり及び看護協会の認知度向上を図る<br>3 各施設の人材確保・育成の取り組みを共有し、地区支部内の看護職定着促進を支援する | | | |
| 評価 | 1．施設代表者会議や地区支部行事を通して、情報共有や施設間の連携を図った。LINEWORKS により、協会からの情報発信、会員間の連絡等使途が拡大しスムーズな情報共有に役立っている。施設代表者会議をハイブリッドで試行した。今後も継続し“参加しやすい”環境を整え、参加施設増加を目指していく。<br>2．まちの保健室は、計画通り年 2 回を実施し延べ 482 人の来場者があった。酔っ払い体験を通して福岡県が進める「飲酒運転撲滅運動」へ貢献できた。<br>3．人材確保・定着を主眼とした研修会や施設代表者会議での意見交換を行った。また今年度の研究発表会では「Z 世代の学校教育の変化」やリーダー育成・教育支援等人材育成や定着に関連した演題が出され活発な意見交換ができた。事業計画は、すべて実施し概ね目標は達成したと評価する。 | | | |
| 地区支部会議 | 地区支部役員会議 | 回　数：12 回<br>開催日：①4/15　②5/1　③6/5　④7/3　⑤8/7　⑥9/9　⑦10/2　⑧11/6　⑨12/5　⑩7/1/8　⑪7/2/10　⑫7/3/5 | | |
| | 地区支部長会議 | 回　数：3 回　開催日：①4/19 ②9/4 ③12/4 | | |
| | 施設代表者会議 | 開催日：7/24 | 場所：ナースプラザ福岡 | 参加施設数：26 名 |
| | | 開催日：7/2/26 | 場所：ナースプラザ福岡 | 参加施設数：22 名(Web5 名) |
| 外部会議 | 看護生涯教育ブロック委員会 | 開催日：7/24(欠席) | 場所：福岡県医師会 | |
| | 保健所運営協議会 | 東区保健所運営協議会 | 開催日：5/30 | 場所：東区保健福祉センター |
| | 地域包括ケアに関する会議 | 東区地域包括ケア推進会議 | 開催日：11/27 | 場所：東区保健福祉センター |
| | その他の委員会・協議会 | 東区健康づくり実行委員会 | 開催日：6/17 | 場所：東区保健福祉センター |
| 研修会等 | 看護生涯教育研修会 | 開催日：10/19<br>場　所：福岡市医師会館 | テーマ：ペイシェント（カスタマー）ハラスメントの予防と対処法<br>講　師：白十字病院防犯対策室室長<br>柴田　健一　氏<br>参加者：48 名 | |
| | | 開催日：7/1/25<br>場　所：福岡市医師会館 | テーマ：バイタルサインから考える臨床推論<br>講　師：福岡市民病院特定認定看護師<br>原　裕次　氏<br>参加者：37 名 | |
| | 地区支部研修会 | 開催日：12/21<br>場　所：ナースプラザ福岡 | テーマ：アンガーマネジメント<br>講　師：雁の巣病院　前田周二　氏<br>参加者：109 名 | |
| | 1 地区看護研究発表会 | 開催日：12/21<br>場　所：ナースプラザ福岡 | 演題数：9 題<br>参加者：90 名 | |
| | 県民健康づくりセミナー | 開催日：8 月～<br>場　所：オンデマンド配信 | テーマ：自分らしく生きるために<br>講　師：医療法人泯江堂三萩野病院総師長<br>介護支援専門員　津田　憲二　氏 | |
| 地域活動 | まちの保健室 | 開催日：5/18 | 場所：ナースプラザ福岡 | 参加者数：59 名 |
| | | 開催日：11/2 | 場所：福岡和白病院 | 参加者数：延べ 423 名 |
| | 令和6年度高校総体(救護) | 開催日：8/4・5 | 場所：照葉積水アリーナ | 参加者数：6 名 |
| 広報 | 地区支部だより | 発行日：7/2/4、7/3/5　　部　数：電子 book 活用 | | |
| | 協会ホームページ活用 | お知らせ：4 件、フォトレポート 1 件、ホームページの「ごあいさつ」更新<br>看護研究発表会や施設代表者会議のプログラム・資料を電子 book 化して配布した | | |